

パレットラック

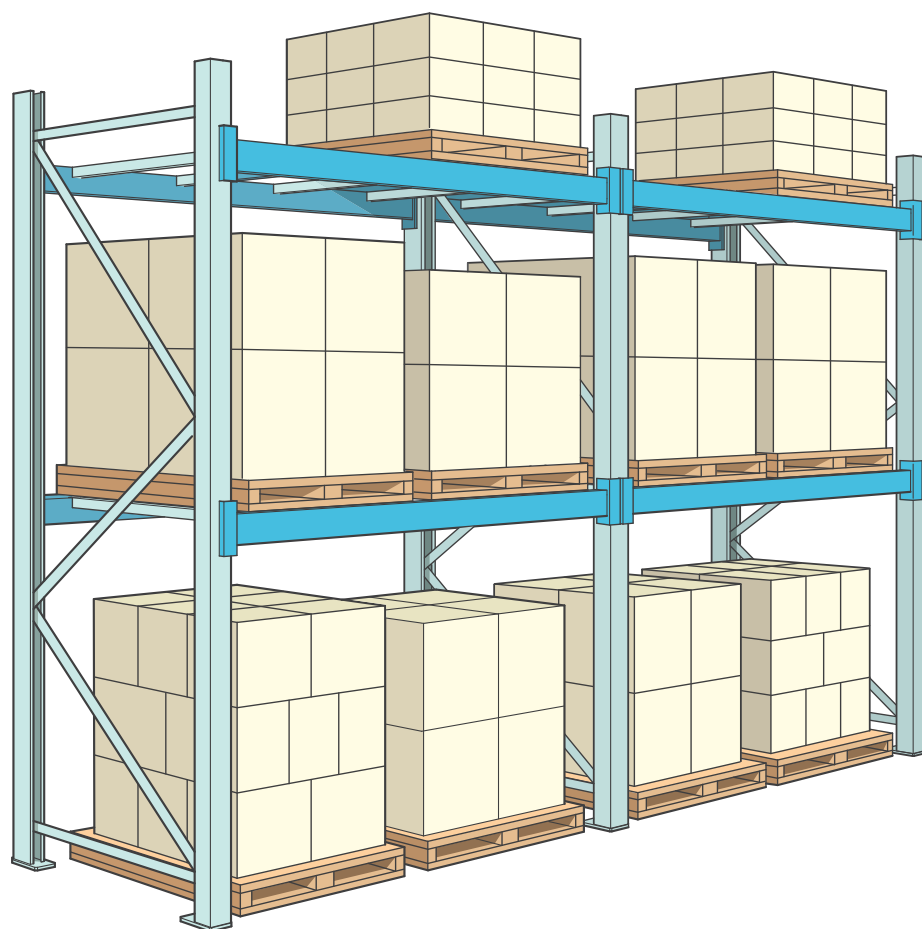
設置・運用時のチェックを必ず行いましょう！

安全にお使いいただくために

JIS規格に準じた製品
であることを
ご確認ください

パレット単位で効率よく格納できる保管棚。

パレットラックは、パレット単位で荷を効率よく格納する、保管棚です。
間違った使いかたをすると、大きな事故につながる危険がありますので、
日常の安全確保のために本パンフレットをお役立てください。



全ての危険を記載しているものではありません。
製造メーカーの取扱説明書を必ず読み、安全に
お使いください。



一般社団法人

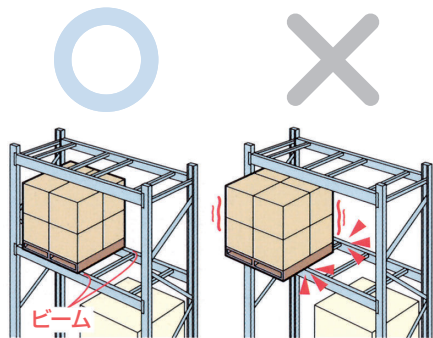
日本物流システム機器協会
The Japan Institute of Material Handling

パレット単位での重量物格納に最適なパレット 設置時や日常の運用には十分注意のうえ、

強度上の注意

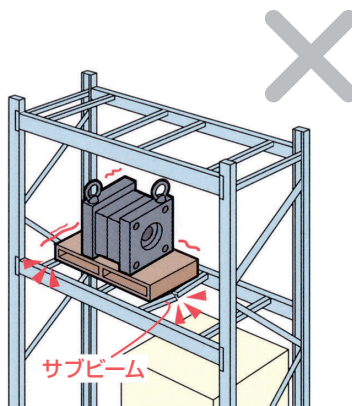
前後のビームに荷が載るように格納する

荷の落下など、ケガや事故の原因になります。



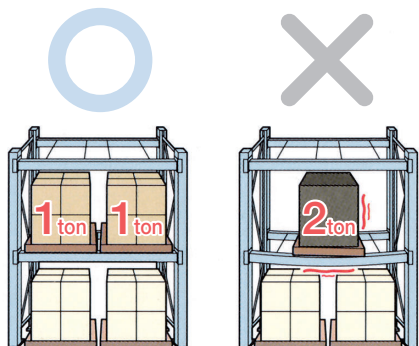
サブビームには直接荷を載せない

サブビームが変形し、荷の落下など、ケガや事故の原因になります。



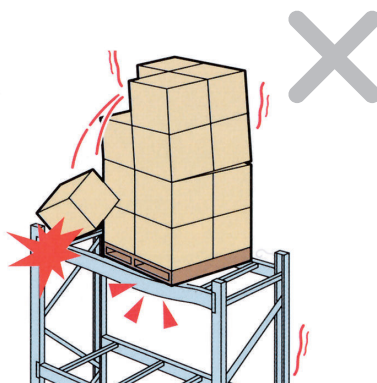
集中荷重をかけない

ラック一段あたりの耐荷重は等分布荷重です。集中荷重をかけるとビームがたわみ、荷が落下してケガや事故の原因になります。



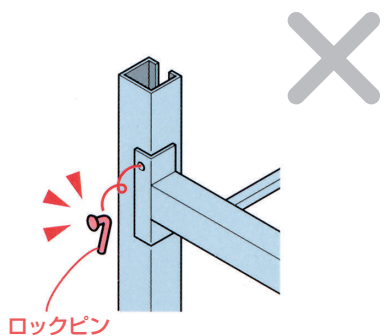
最大積載荷重以上のものを載せない

ビームの落下や破損・荷の落下など、ケガや事故の原因になります。



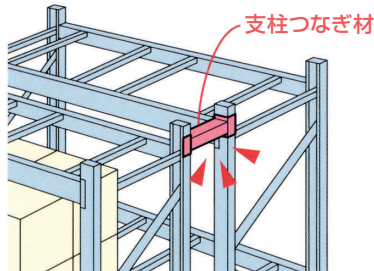
安全保安部品（ロックピン・ボルトなど）を外して使用しない

ビームやサブビームの外れ・落下、ラックの転倒や荷の落下など、ケガや事故の原因になります。



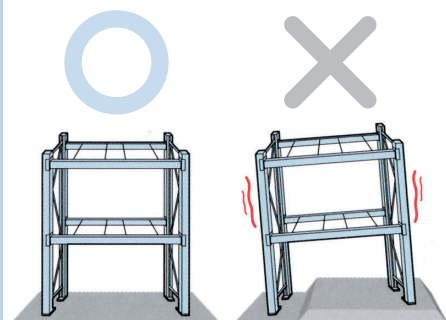
複列のときは、支柱つなぎ材をつける

ラックを複列形で使用するときは、フレーム間に支柱つなぎ材をつけることで転倒防止が図れます。



水平に設置する

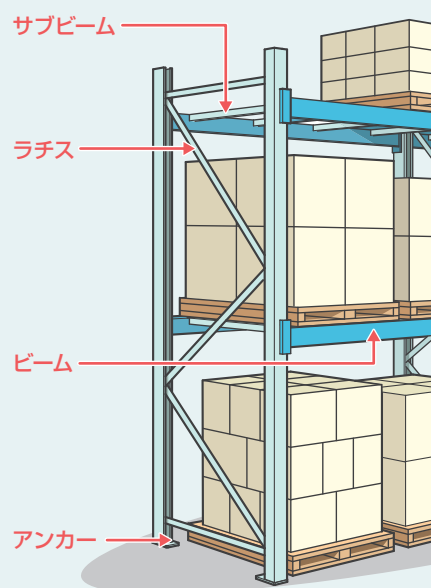
水平に設置しないと、本体の歪みや破損・転倒の恐れがあり大変危険です。



使用前に取扱説明書を必ず
安心・安全にご使用いただくために

ラックの設置環境に合った
屋内仕様のラックは屋外では使用で
仕様も確認してください。

異常を発見したまま使わな
ラックの破損・転倒や荷の落下など



※メーカーに

設置上

トラック。 安全にご使用ください。

困ったときは、
ご相談ください



運用上の注意

必ず読み、正しく使用する

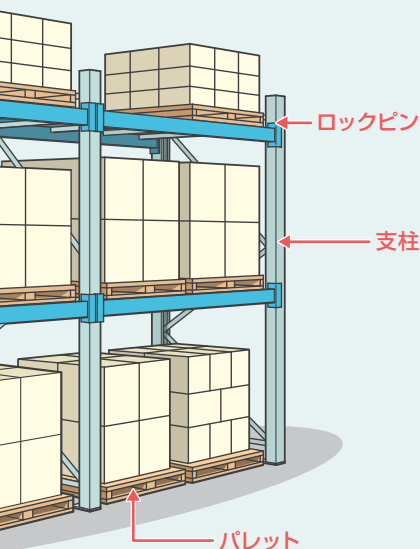
取扱説明書は大切に保管してください。

正しいか、確認する

できません。また、温度・湿度などの

正しい

、ケガや事故の原因になります。



より、部材の形状・構造および名称は異なります。

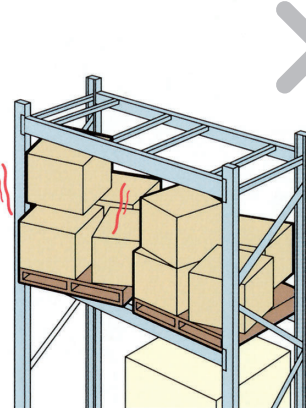
ラックにのぼらない

ラックの転倒や転落など、ケガや事故の原因になります。



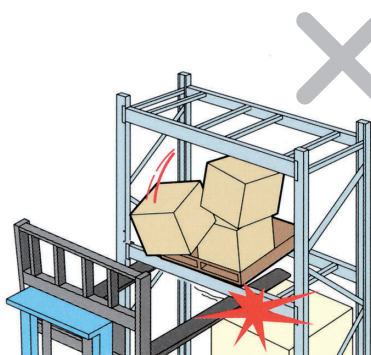
不安定な収納はしない

荷崩れや転倒・落下など、ケガや事故の原因になります。



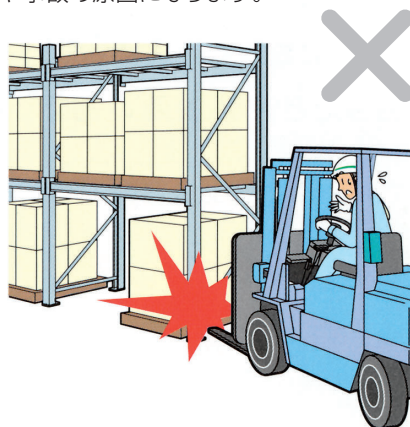
フォークリフトでビームを持ち上げない

ビームやサブビームの外れ・落下、ラックの転倒や荷の落下など、ケガや事故の原因になります。



フォークリフトをぶつけない

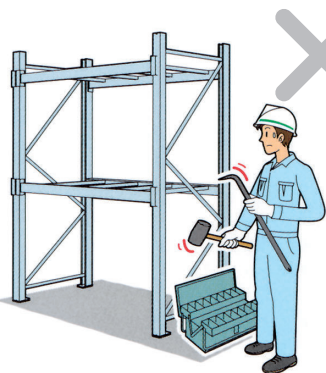
ラックの破損・転倒や荷の落下など、ケガや事故の原因になります。



の注意

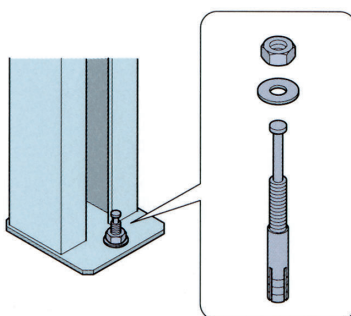
お客様ご自身での分解・改造・移設は行わない

思わぬケガや事故の原因になりますので、メーカーにお問い合わせください。



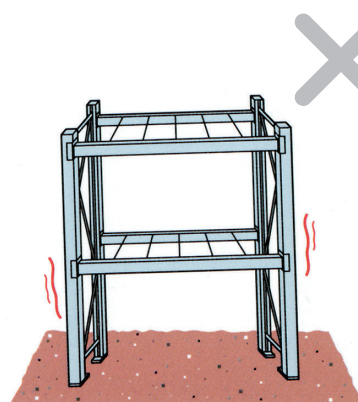
必ず床固定をする

ラックをアンカーで確実に固定してください。固定しないと、転倒などでケガや事故の原因になります。



コンクリート床に設置する

アスファルトなど強度不足の床では、沈下や転倒の恐れがあり大変危険です。

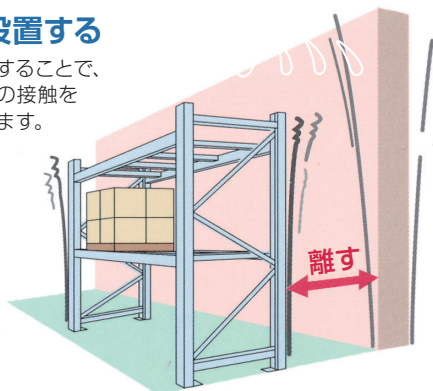


地震対策

地震対策の一例です。できることから始めましょう！

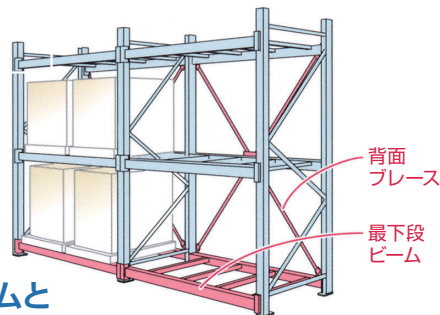
壁と離して設置する

壁から離して設置することで、揺れによる建物との接触を避けることができます。



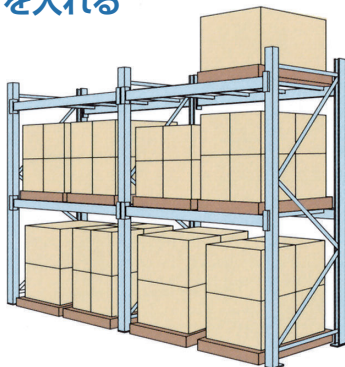
最下段ビームと背面ブレースを付ける

最下段にビームを付け、さらに背面ブレースを施すとラックの強度アップが図れます。



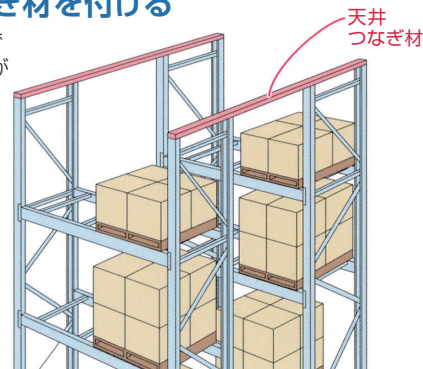
下段に優先的に荷を入れる

上部は揺れが大きいので、できるだけ下段に荷を格納してください。



上部に天井つなぎ材を付ける

支柱間を天井つなぎ材でつなぐことで、転倒防止が図れます。



困ったときやご相談・お問い合わせは…

「製造メーカー」
または
「メーカー指定業者」
へご相談ください。

性能保持と安全維持のために保守点検は必要です。

ご依頼は
こちらへ

お客様ご自身での補修や部品交換はおすすめしません。
機器が正しく作動しなかったり、思わぬ事故や故障の原因になりますので、
下記メーカーまたは、メーカー指定のメンテナンス業者へご相談ください。

一般社団法人

日本物流システム機器協会

<https://www.jimh.or.jp/>

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-3-2 スギコビル2F
TEL: 03-6222-2001 FAX: 03-6222-2005